

1. 報告要旨

FoE Japan は、原発事故被害者、とりわけ子どもたちの放射性被ばくの提言や健康管理体制の構築のために多くの活動を行ってきた。

現場型の活動としては、多くの市民団体や地元の医師・ボランティアの協力のもと、猪苗代および南房総で、福島の子どもの自然体験型保養である「福島ぽかぽかプロジェクト」を継続的に実施してきている。

また、子ども・被災者支援法が、被災者の支援として具体的に機能するよう、基本方針の策定時には、東京・京都・新潟・福島で集会やワークショップを開催し、被災当事者の声を復興庁に伝え、それを可視化し世論形成に努めた。

さらに、「放射線被ばくと住民の健康管理のあり方に関する市民・専門家委員会」を立ち上げ、環境省・復興庁との交渉、福島県健康管理課とのダイアログを行った。

4. 成果物

- [1. 福島ぽかぽかプロジェクト報告](#)
- [2. 共同声明:被災者の声なきままの基本方針案は手続き違反～既存施策の寄せ集めはもうたくさん\(2013/8/30\)](#)
- [3. 【緊急署名】支援法基本方針案の見直しを！](#)
- [4. 原発事故子ども・被災者支援法 9・8 東京集会](#)
- [5. 原発事故子ども・被災者支援法 9・9 京都集会](#)
- [6. 福島学習会\(9月10日\)](#)
- [7. Q&A 何が問題? 子ども・被災者支援法の基本方針案](#)
- [8. 報告...政府交渉:「子ども・被災者支援法」を骨ぬきにしないで!復興庁基本方針案パブコメ対応、公聴会、支援対象地域、住宅支援と健康対応はどうなる?](#)
- [9. 原発事故子ども・被災者支援法の基本方針案についての要請](#)
- [10. 支援法基本方針 自治体意見書・決議などのまとめ](#)
- [11. プレスリリース「パブコメ無視の\(修正\)基本方針」は遺憾～明日の閣議決定へ抗議!被災者の意見を反映した本質的修正を～」](#)
- [12. 「放射線被ばくと健康に関する市民・専門家委員会」報告書](#)
- [13. 公開フォーラム「子どもたちの未来のために 健康被害の未然防止と支援法の早期実施を求め、1mSvを守ろう」\(2013/5/5\)](#)
- [14. ミニセミナー「被ばく安全神話を問う～科学の視点、市民の視点」\(2013/5/26\)](#)
- [15. 「福島県県民健康管理調査」に関する市民ダイアログ会合\(報告\)\(2013/7/27\)](#)
- [16. 「福島第一原発事故に起因する放射線被ばくと健康管理のあり方に関する省庁との会合—質問と回答」\(2013/6/19\)](#)
- [17. 国連科学委員会報告書に、日本のNGOが「異議あり」\(2013/10/25\)](#)
- [18. 国連科学委員会\(UNSCEAR\)福島レポートをどう読むか～IPPNWの共同代表・ティルマン・ラフ博士を迎えて～\(2013/11/6\)](#)
- [19. 【緊急声明】安全神話の押し付けに懸念:政府発表の「帰還に向けた放射線リスクコミュニケーション」と「放射線リスクに対する基礎的情報」に問題提起\(2014/01/19\)](#)